

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

令和6年度事業活動報告

令和6年度は、世界情勢の混乱が続き、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、地域経済にとって厳しい一年となりました。このような不確実性の高い環境下で、当センターは地域産業の持続可能な発展を支えるべく、DXの推進、海洋再生可能エネルギーの事業化に向けた支援、地域資源を活用した商品化等の支援などに積極的に取り組んでまいりました。加えて、企業訪問を通じて事業者の皆様の経営課題を把握し、岩手大学などの関係機関と連携しながら具体的な解決策を提供することで、地域の産業競争力向上に努めました。

引き続き、各関係機関と連携を密にし、より一層の充実を図り、地元中小企業の支援機関としての役割を果たしていく所存であります。

【 公1 地域産業育成支援事業 】

1. 海洋エネルギー関連産業創出事業（釜石市補助事業）

決算額：3,958,928円（釜石市3,958,928円）

1 目的

岩手県海洋エネルギー産業化研究会の運営により、地場企業が海洋エネルギー産業へ参入する機会を促進し、研究開発や事業化を進めながら、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。

2 実施内容

(1) コーディネーターの配置

研究会活動をコーディネートする専門職員として、海洋エネルギー産業化コーディネーターを配置した。

(2) 海洋エネルギー産業化研究会の開催及び情報発信

海洋エネルギーに関する最新動向や専門家からの研究開発状況等の講演により地域企業の機運醸成と会員相互の交流促進を図るべく、下記のとおり開催した。また、専用ホームページにて研究会の開催状況等、情報発信した。

| 開催日 | 開催概要 |
|------------|--|
| R6.7.30（火） | 「定期総会・第1回産業化研究会」 会 場：岩手大学 釜石キャンパス 1階セミナー室 |

| | |
|------------|---|
| R7.2.4 (火) | <p>参加者：48名</p> <p>内 容：</p> <p>【定期総会】 事業報告及び事業計画</p> <p>【講 演】</p> <p>(1)「地球温暖化と海洋酸性化が海と社会に及ぼす影響」 東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 大槌研究拠点 教授 藤井 賢彦 氏</p> <p>(2)「水上ドローン、水中カメラによる海洋作業の省力化、 省人化について」 炎重工株式会社 営業部 小林 健一 氏</p> <p>「第2回産業化研究会」</p> <p>※「岩手県海洋エネルギーシンポジウム」と共催</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：41名</p> <p>【講 演】</p> <p>「海洋高水温化と海洋エネルギー政策について」 東京大学 生産技術研究所 教授 北澤 大輔 氏</p> <p>【報 告】</p> <p>(1)釜石沖海洋再生可能エネルギー実証フィールド[※]の概要と成果 岩手県 ふるさと振興部 科学・情報政策室</p> <p>(2)実証フィールドを活用した波力発電実証の成果と今後 (公財)釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>(3)釜石市における環境省「脱炭素先行地域」の選定について 釜石市 産業振興部 国際港湾産業課 ゼロカーボンシティ推進室</p> |
|------------|---|

(3) 海洋エネルギーに係る研究開発、事業化の推進

①釜石波力発電システムの実用化を目指した取り組み

令和5年9月末まで実施した、「インテリジェント吸波式波力発電による地域経済循環ビジネスモデル実証事業（環境省委託事業）」により、釜石港湾口防波堤に波力発電装置を設置した取組は、振動水柱型波力発電の信頼性向上と高コスト課題に対応する画期的なものであり、波力発電システムの性能と信頼性が確認された一方で、最適な設置位置を特定することと、防波堤構造の補強技術と防波堤に影響を与えない施工方法の確立が重要であることが課題となった。

これら実用化に向けた課題を解決し、普及促進への着実なステップを進めること

とし、事業実施主体である（株）マリンエナジーが NEDO 補助事業に申請し、採択された。（申請日：令和 6 年 5 月 16 日、採択日：令和 6 年 7 月 30 日）

- ・ NEDO 補助事業名：NEDO 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業
- ・ 事業名（テーマ）：「外洋に面した既設防波堤に設置する波力発電の実用化に向けた技術開発」
- ・ 事業期間：令和 6 年 10 月～令和 8 年 9 月（2 年間）
- ・ 事業費：62,500 千円（補助率 8/10）
- ・ 実施体制：実施主体 株式会社マリンエナジー
共同研究先 （一社）ブローホール波力発電機構

当センターは申請書の作成支援から採択後の事務手続き、事業の進捗管理等をフォローアップしている。

②普及・啓蒙、人財育成

釜石波力発電システムを含めた海洋エネルギーに関し、釜石高校（SSH フィールドワーク）及び宮古高校（海洋教育）として、これら取組の普及・啓蒙、人財育成を図った。

○釜石高校 SSH フィールドワーク

| 開催日 | 内 容 |
|--------------|---|
| R6. 5. 16（木） | 会 場：産業育成センター 参加者：1 年生 18 名 内 容：「環境問題～地球温暖化の防止のために」をテーマに、地球温暖化防止と海洋再生可能エネルギーについて講義を行うとともに、脱酸素社会の実現に向けたマイアクションを考えるワークショップを実施 |

○宮古高校 文部科学省「総合的な探求の時間（海洋教育）」授業及び企業見学

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|---|
| R6. 7. 1（月） | 会 場：宮古高校 参加者：2 年生 70 名 内 容：海をテーマにした地球温暖化防止についての授業 |
| R6. 7. 6（金） | 参加者：2 年生 30 名 内 容：7 月 1 日の授業で紹介した釜石地域の企業見学 訪問先：①波力発電__（株）マリンエナジー、 ②サクラマス自動給餌機__日鉄エンジニアリング（株）、 ③洋上風力発電 CTV 船建造__（株）及川工務店、 ④バイオマス混焼火力発電__日本製鉄（株） |

(4)「脱炭素先行地域（環境省事業）」への釜石市提案事業に係る需要家に対する調査

釜石市が「脱炭素先行地域」への申請にあたり、当センターも共同提案者となっているが、計画しているモデル事業について対象エリア（新浜町～大渡町）の事業者 250 者に対して下記調査を行った。

- ①再エネ電力メニューへの切替意思
- ②補助メニューを活用した太陽光発電（屋根置き、カーポート型）、蓄電池の導入意思
- ③補助メニューを活用した薪ストーブの導入意思

上記調査結果をとりまとめて釜石市に報告した。

3 結果

【成果目標／指標及び実績】

新たなテーマの発掘⇒2件

- ・ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（JRE）との新型波力発電連携の可能性について今後検討することとした。
- ・秋田洋上風力発電株式会社からの情報提供による洋上風力発電基地港湾誘致の可能性について今後検討することとした。

※上記はいずれも環境省事業の参画メンバーである東京大学先端科学技術研究センター飯田誠特任准教授が大きく関与していることから、引き続き連携を密にして、釜石市担当課とも情報共有を行い実現の可能性を探索する。

2. 地域産業育成事業（釜石市補助事業）

決算額：3,946,739 円（釜石市 3,946,739 円）

1 目的

新商品・新技術開発や販売力強化のほか、人材育成や新分野進出等を促進するため支援を行うことにより、地域産業の活性化を目指す。

2 実施内容

(1) 技術支援・開発支援

企業訪問等により現況に加え経営課題や技術課題を聞き取りし、商品開発などの企業ニーズに沿った勉強会等のほか、個別相談や各種支援施策等の情報提供を行った。このうち、専門性が高い課題については、岩手大学のほか、岩手県工業

技術センター等と連携した対応により技術基盤の底上げを図った。また、ものづくり意欲の醸成や技術の向上を目指し、デジタル設備（岩手大学所有）を活用し、試作開発、技術指導を行った。

① 企業訪問調査及び個別指導

- ・ 訪問・来訪企業数 126 件
- ・ 支援企業数 28 件
- ・ 個別指導件数 40 件

② デジタル機器の環境整備及び技術支援

ものづくり技術の向上やものづくり意欲の醸成に繋げるため、地域企業のほか、個人事業者や次世代を担う学生等を対象として岩手大学所有の設備を開放・活用し、試作や加工技術などの個別相談等に対応した。

<開放設備>



(3D-プリンタ)



(カッティングマシン)



(レーザー加工機)



(NCルーター)

※その他、3D-CAD (SOLIDWORKS、Fusion360)、工具などを開放。

<設備利用 (個別相談対応) >

3団体 (17回) 利用

使用設備：レーザー加工機、3D-CAD、3Dプリンタ

使用用途：加工相談、製品試作 等

③ 地域資源活用・新商品開発勉強会

地域資源を活用した新商品の開発を目的とし、税財源として関心の高いふるさと納税の返礼品への採用も視野に入れた勉強会等を実施した。

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|-----|------------------------|--|
| 第1回 | R6.12.6（金） | <p>「地域資源活用新商品開発勉強会」</p> <p>◎情報提供（15:00～15:30） 「いわて銀河プラザ及び小売店舗の近況と消費者動向等」 岩手県産（株）商品部企画開発課 シニアマネージャー 長澤 由美子 氏</p> <p>◎講演（14:30～17:00） 「卸の視点から見た食品流通、商品開発、商談の進め方、販路拡大」 国分東北株式会社 マーケティング部地域共創課 課長 村川 誠明 氏</p> <p>◎情報交換会（17:00～17:30） 会 場：産業育成センター 応接室 参加者：15名</p> |
| 第2回 | R7.2.6（木） ～2.7（金） | <p>「地域資源活用新商品開発勉強会」</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター 参加者：1日目／11名、 2日目／4名</p> <p>◎勉強会（1日目 14:30～16:30・2日目 9:00～12:00） 講師：株式会社みちのくプランニング 代表取締役 藤井登 氏（※岩手県産業創造アドバイザー） 内容：【目標】現況と改題／目標達成シートの作成 【考え方】設計の方向性／企画の重要性 【やり方】商品開発事例／開発のポイント</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター 参加者：1日目／11名、 2日目／4名</p> |
| 第3回 | R7.2.27（木） ～2.28（金） | <p>「地域資源活用新商品開発勉強会」</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター 参加者：1日目／11名、 2日目／3名</p> <p>◎勉強会（2.27／14:30～16:30）</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>講師：株式会社みちのくプランニング 代表取締役 藤井登 氏（※岩手県産業創造アドバイザー）</p> <p>内容：【前回の復習】目標／考え方／やり方 【商品開発】開発商品撮影／開発商品試食 【企画提案書】価格設定ポイント／商品企画提案書ポイント</p> <p>◎個別相談会（2.28／9:00～12:00）1社 相談テーマ：開発商品及び既存商品のブランディング</p> |
|--|--|--|



（第1回勉強会）



（第2回勉強会）



（第3回勉強会）



（試食会）

（2）新たな事業展開促進

①経営力向上セミナー（経営者、部門担当者向け）

地域企業等が抱える様々な課題に対応するための質的向上を創発していくため、アンケートや訪問での聞き取りにて、課題（要望）上位であった「人材育成・人材確保」、「販売促進」の2テーマを設定し、経営者や部門担当者を対象とした集合研修を開催した。

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|-----|------------|---|
| 第1回 | R6.11.1（金） | ◎テーマ：人材育成、人材確保 「人材課題解決セミナー ～地域企業の人材活用の |

| | | |
|------|--------------------------|--|
| | | <p>基本的な考え方・進め方～」</p> <p>株式会社ブランド・プロモーション戦略研究所 水島 寿人 氏</p> <p>(中小企業診断士、岩手働き方改革推進支援センターセンター長)</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：8名</p> |
| 第2回 | R6.11.21(木) | <p>◎テーマ：新規顧客開拓、販路開拓</p> <p>「コストをかけずに新規顧客(法人)開拓！ 少人数でのできる BtoB 販路開拓セミナー」</p> <p>株式会社ブランド・プロモーション戦略研究所 仲田 俊一 氏</p> <p>(中小企業診断士、仲田俊一中小企業診断士代表)</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：8名</p> |
| 個別指導 | R6.11.19(火) ～11.20(水) | <p>内 容：人材確保、育成(人事評価制度の導入について、 高校生採用について、中堅社員育成について、人 材定着について)</p> <p>会 場：釜石市内企業(2社)</p> <p>参加者：2社</p> |



(第1回勉強会)



(第2回勉強会)

②デジタル化に向けた相談対応及び支援機関による情報交換

デジタル化やDX化に向け、その解決や生産性向上の実現に向けた個別支援を行ったほか、地域企業等が状況に応じたサービスを受けやすい環境を整備するため、地域内の支援機関等と情報交換を行った。

○個別相談対応：4社

- ・業務改善（賞味期限シール検査方法相談）
- ・職場環境改善（リモートワーク環境構築相談）
- ・生産管理（受発注方法・在庫管理相談）
- ・省人・省力化（機械装置開発相談）

○情報交換会

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|-----|---------------|--|
| 第1回 | R6. 11. 22（金） | DX「デジタル化支援活動」に関する情報交換会 内容：各機関よりデジタル支援に係る実施事業及び 取り組み状況報告、情報交換（意見交換） 参加：岩手県沿岸広域振興局産業振興室、 釜石市商工観光課、大槌町産業振興課、 釜石商工会議所、大槌商工会、 産業育成センター |
| 第2回 | R7. 2. 18（火） | DX「デジタル化支援活動」に関する情報交換会 内容：各機関よりデジタル支援に係る実施事業及び 取り組み状況報告 情報提供（事業紹介） 「地域企業と自治体をつなぐデジタルサポ ートの新提案」 local hack 合同会社 代表 鈴木広法氏 参加：岩手県沿岸広域振興局産業振興室、 釜石市商工観光課、大槌町産業振興課、 釜石商工会議所、大槌商工会、 産業育成センター |

(3) ものづくり人材育成、外部人材との交流

①学生交流事業

人材還流による地域産業への就労環境の整備に向けて、学生の地域ものづくり企業への就労イメージを醸成するとともに、地域企業の人材市場調査に資するため、岩手大学等の学生と地域企業が交流する機会を設けること目的に岩手大学との共催により下記の事業を実施した。

| 開催日 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| R7.3.10 (月) ～3.11 (火) | <p>「アントレプレナーシップ事業」 参加者：5名（岩手大学生3名、引率者2名）</p> <p>○1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MOMIJI(株) 兼澤幸男氏（事務所内） ・ (有)ヤマキイチ商店 君ヶ洞剛一氏（生簀見学・事務所内） ・ 陸前高田にIターン後に漁師 三浦尚子氏（釜石キャンパス） ・ 大船渡にIターン後に漁師 岡田薫省・真由美夫妻（釜石キャンパス） <p>○2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釜石在住のフリーランス・ライターの手塚さやか氏（釜石キャンパス） ・ 野田村にUターン後にレストラン開業と漁師 安藤智子氏（釜石キャンパス） ・ (株)津田商店 小笠原正勝氏（工場見学・事務所内） ・ 宮古市重茂に嫁ぎ民泊経営 中村菜摘氏（釜石キャンパス） ・ 岩手大学 齋藤孝信氏（釜石キャンパス） |



(1日目：MOMIJI)



(1日目：ヤマキイチ商店)



(2日目：津田商店)



(2日目：岩大 釜石キャンパス)

②先進企業見学会

地域企業の技術力向上のほか今後の事業展開や生産改善に繋げていくため、地域内の先進企業見学会を企画し、企業間の情報交換や交流を促進する機会を創出した。

| 開催日 | 内 容 |
|----------------|---|
| R6. 11. 13 (水) | SMC 釜石工場工場見学会 内 容：新工場（第5工場）・安全道場等の見学 場 所：SMC 釜石工場 第5工場 参加者：26名 |



(SMC釜石工場 第5工場外観)



(見学会の様子)

(4) 販売力の強化

市場の変化に対応した既存商品のブラッシュアップ等を目的に、物販イベントなど販売促進・販路開拓機会を提供した。

①釜石・大槌フェアの開催（物販イベント）

| 開催日 | 内 容 | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---------|-------------|-----------|-----------------------|---------|---------------------------|--------|-----------------|---------|------------|
| R6. 7. 5 (木) ～7. 19 (木) | 場所：ちよだグルメショップ+A (東京都千代田区神田錦町／ちよだプラットフォームスクエア内) 内容：釜石・大槌の商品を委託販売 (22品) | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tbody> <tr> <td>(株)津田商店</td> <td>2品 (ほやバル2種)</td> </tr> <tr> <td>大槌町観光交流協会</td> <td>3品 (海のジビエ缶詰・磯ラーメンセット)</td> </tr> <tr> <td>(有)菅原紙器</td> <td>3品 (カラフルCUBE・たまり漬・ピーマン味噌)</td> </tr> <tr> <td>もち屋くどう</td> <td>2品 (黒胡麻もち・胡桃もち)</td> </tr> <tr> <td>(株)三陸麻生</td> <td>1品 (いかの塩辛)</td> </tr> </tbody> </table> | (株)津田商店 | 2品 (ほやバル2種) | 大槌町観光交流協会 | 3品 (海のジビエ缶詰・磯ラーメンセット) | (有)菅原紙器 | 3品 (カラフルCUBE・たまり漬・ピーマン味噌) | もち屋くどう | 2品 (黒胡麻もち・胡桃もち) | (株)三陸麻生 | 1品 (いかの塩辛) |
| (株)津田商店 | 2品 (ほやバル2種) | | | | | | | | | | |
| 大槌町観光交流協会 | 3品 (海のジビエ缶詰・磯ラーメンセット) | | | | | | | | | | |
| (有)菅原紙器 | 3品 (カラフルCUBE・たまり漬・ピーマン味噌) | | | | | | | | | | |
| もち屋くどう | 2品 (黒胡麻もち・胡桃もち) | | | | | | | | | | |
| (株)三陸麻生 | 1品 (いかの塩辛) | | | | | | | | | | |

| | | |
|--|-----------|------------------|
| | MOMIJI(株) | 2品 (ジビエ缶詰・ジャーキー) |
| | 小豆嶋漁業(株) | 1品 (ほや燻製) |
| | 釜石鉱山(株) | 1品 (仙人秘水) |

② たちのみぷらっと (PRイベント)

| 開催日 | 内 容 |
|------------------------------|---|
| R6. 7. 12 (金) 18:00~20:30 | <p>内容：上記イベント開催期間中、販売商品等のPRを目的にイベントを開催。</p> <p>今回は「釜石はまゆりサクラマス」を会場でさばき、刺身やあら汁などを提供。</p> <p>参加者：29名</p>  |

③ 飲食店での食材利用

| 開催日 | 内 容 |
|----------------------------|---|
| R6. 7. 1 (月) ~3. 31 (水) | <p>内容：釜石・大槌フェアとして、ランチやディナーメニューとして当地域の食材を使ってもらう。</p> <p>食材：釜石 (釜石はまゆりサクラマス) 大槌 (桃畑学園サーモン、大槌ジビエ)</p> <p>場所：① 結ぶ食房「しまゆし」 (東京都千代田区神田錦町 3-21 ちよだプラットフォームスクウェア内)</p> <p>② 47 都道府県レストラン「箕と環」 (東京都中央区日本橋本石町 4-2-6 神田 GM ビル 1F)</p> <p>売上：2店舗合計で 131,440 円を売り上げた</p> |

3 結 果【成果目標／指標及び事業実績】

- (1) 企業訪問数月間 10 社以上 (賛助会員以外企業 1 社以上を含む) ⇒126 社 (うち賛助会員以外企業 44 社)
- (2) 企業訪問による支援案件の抽出 (12 件以上) ⇒40 件
- (3) 支援案件の具体的な着手 (勉強会の開催 3 回以上) ⇒7 回

- (4) 補助金等の申請支援（3件以上）⇒2件
- (5) 大学等との連携事業の開催⇒1回
- (6) DX実装に向けた行政及び支援機関による情報交換会の開催（2回）⇒2回

3. 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業（岩手県補助事業）

決算額：7,685,000円（岩手県7,685,000円）

1 目的

釜石・大槌地域では、高齢化や若手人材の流出等、慢性的な人材不足が大きな課題となっており、それを解決するためには、DX等デジタル技術の活用が必要不可欠である。

本事業では、デジタル技術導入や活用に向けた個別指導のほか、デジタル技術普及勉強会（セミナー、技術講習会）を実施し、デジタル技術基盤や付加価値向上はもとより、企業等による新事業の創出及び雇用の拡大に繋げる。

2 実施内容

(1) ものづくり企業のデジタル技術導入・活用に向けた個別指導

釜石地域を中心とした沿岸部のDX化推進を目的として、DX推進コーディネーターを配置し、企業訪問等により、地域のものづくり企業等のデジタル化導入のための状況や課題を聞き取り、この解決に向けた個別支援を行った。また、そのニーズに対応するため、以下に記載の事業を企画し、実施した。

①コーディネート支援

- ・活動内容：企業等に対しデジタル化導入状況や課題を聞き取り解決に向けた個別支援、ニーズに対応するための事業企画、実施等
- ・訪問等の調査：訪問・来訪等件数 72件
- ・個別支援：訪問等により、課題のある企業については、解決に向けた支援・指導を行った。
個別支援件数：7社10件

(2) DX普及勉強会の開催

①デジタル技術普及セミナー開催及び導入支援の実施

DXの活用した業務効率化事例の紹介やデジタル化の進め方（導入方法等）についての勉強会を実施した。

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|-----|------------|--|
| 第1回 | R6.9.10（火） | 『生成AIを活用した業務効率化①』 会 場：釜石・大槌地域産業育成センター |

| | | |
|-----|----------------|---|
| | | <p>参加者：11名</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 講演</p> <p>演題：生成 AI 活用①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成系 AI ツールの概要と最新情報 ・プロンプトについて ・プロンプト実践ワークショップ ・文書作成 ・その他活用方法 <p>講師：local hack 合同会社 代表 鈴木広法氏 いとへん 代表 田中大樹氏</p> |
| 第2回 | R6. 9. 17 (火) | <p>『生成 AI を活用した業務効率化②』</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：11名</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 講演</p> <p>演題：生成 AI 活用②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ChatGPT 実践 ・その他有用な AI ツールについて <p>講師：local hack 合同会社 代表 鈴木広法氏 いとへん 代表 田中大樹氏</p> |
| 第3回 | R6. 10. 11 (金) | <p>『DXシステム導入支援・エンドミル加工技術セミナー』</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：10名</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 講演 1</p> <p>演題：小径エンドミルを有効に活用した微細精密加工方法について</p> <p>講師：日進工具株式会社営業グループ グループ長 黒澤 淳一 氏</p> <p>(2) 講演 2</p> <p>演題：高能率加工を実現する工具選定と加工方法について</p> <p>講師：日進工具株式会社営業グループ グループ長 黒澤 淳一 氏</p> <p>(3) 展示見学</p> |
| 第4回 | R7. 1. 31 (金) | <p>『中小企業の現実的なデジタル化の進め方①』</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター/オンライン</p> <p>参加者：13名</p> <p>内 容：</p> |

| | | |
|-------|---------------|--|
| | | <p>(1) 講演 演題：「DX って結局何？から始める IT 活用」 ー今始めないといけない理由を知っておこうー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX の定義とやらないといけない理由 ・IT 活用しない理由への対案 <p>講師：株式会社 IT 経営相談所 代表取締役 岡室俊之 氏</p> |
| 第 5 回 | R7. 2. 14 (金) | <p>『中小企業の現実的なデジタル化の進め方②』 会 場：釜石・大槌地域産業育成センター/オンライン 参加者：12 名 内 容：</p> <p>(1) 講演 演題：「知っておきたいクラウドシステムの世界」 ー業務システム～生成 AI の調べ方・導入の仕方ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に何から始めて行くか？ ・選び方、比較の仕方とツールの紹介 <p>講師：株式会社 IT 経営相談所 代表取締役 岡室俊之 氏</p> |

②デジタル技術講習開催

デジタル技術を活用できる人材を育成するため、CAD 等のデジタル設備の相談会、操作体験のほか、生成 AI の活用について講習などを実施した。

| 回 | 開催日 | 内容 |
|-------|-------------------------|---|
| 第 1 回 | R6. 8. 8 (木) ～ 9 (金) | <p>『3D-CAD 相談会』 会 場：釜石市内企業 (3 社) 相談企業：3 社 (3 名) 内 容：</p> <p>(1) 3D-CAD 等の技術相談 相談企業：地域企業 3 社 講師：いわてデジタルエンジニア育成センター センター長 小原照記 氏</p> |
| 第 2 回 | R6. 12. 5 (木) | <p>『産学官連携技術相談会』 会 場：相談企業 (2 社) 参加者：2 社 (3 名) 内 容：</p> <p>(1) 技術相談 相談企業：地域企業 3 社 講師：岩手大学 客員教授 佐藤利雄 氏 釜石・大槌地域産業育成センター DX 推進コーディネーター 梅谷庄二</p> |

| | | |
|-----|---------------|---|
| 第3回 | R7. 1. 21 (火) | <p>『生成 AI 活用講習 (PC 活用) 』</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：6名 (うち、事業対象者3名)</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 講演</p> <p>演題：生成 AI 活用講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業課題を抽出・AI インプット ・プロンプト活用法及び活用 (実践) <p>講師：local hack 合同会社</p> <p style="text-align: right;">代表 鈴木広法氏</p> <p style="text-align: right;">いとへん代表 田中大樹氏</p> |
| 第4回 | R7. 2. 11 (火) | <p>『デジタルものづくり体験会』</p> <p>会 場：しごと・くらしサポートセンター</p> <p>参加者：6名 (うち、事業対象者2名)</p> <p>内 容：</p> <p>(1) ものづくり体験会</p> <p>演題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3D-CAD/3D プリンタ ・レーザー加工機 ・VR/ロボット 等の操作・加工体験 <p>講師、操作・加工指導：</p> <p style="text-align: right;">いわてデジタルエンジニア育成センター センター長 小原照記氏</p> <p style="text-align: right;">岩手大学高度試作加工センター 武田洋一 氏、大志田宜明 氏 眞野航 氏</p> <p style="text-align: right;">釜石・大槌地域産業育成センター DX 推進コーディネーター 梅谷庄二</p> |
| 第5回 | R7. 3. 7 (金) | <p>『デジタル設備を活用したものづくり講座』</p> <p>会 場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者：3名 (うち、事業対象者3名)</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 講習</p> <p>演題：</p> <p>第1部 ものづくり講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手大学釜石ものづくりサテライトの紹介 ・レーザー加工機の操作説明 <p>第2部 ものづくり製作体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの検討 ・操作・加工体験 <p>講師・操作指導：</p> <p style="text-align: right;">岩手大学高度試作加工センター</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | 大志田宜明 氏、眞野 航 氏 釜石・大槌地域産業育成センター DX 推進コーディネーター 梅谷庄二 |
|--|--|---|

3 実施結果

【成果目標／指標及び事業実績】

- (1) 勉強会参加企業・個人事業主数 (10 社以上)
⇒19 社 (うち、釜石・大槌地域企業 11 社)
- (2) 具体的な取組事例への支援 (3 件以上)
⇒7 社 10 件
(業務管理、業務内製化、治具製作、製品開発、加工相談等)

5. 情報提供事業

当センターホームページ及びフェイスブック・電子メール等を活用し、当センター主催または関係機関が主催するセミナーの開催情報や国・県・市町村等の支援情報や補助金・助成金の公募に関する情報等を随時提供した。

その他、当センター1階及び2階ロビーにて、地域企業等の製品展示を行い、製品及び技術紹介を行った。

・実施内容

(1) インターネットを活用した情報発信

- ・当センターホームページ、フェイスブック、電子メールにより、セミナー情報、補助金情報、会員企業情報等、延べ 92 件を情報提供した。
(内訳) ホームページ：31 件、フェイスブック：31 件、
電子メール：30 件

(2) 製品展示

- ・1階、2階各ロビー (地域企業の製品等)
- ・東大阪市モビオ (地域企業製品及び海洋エネルギー事業のPR)
また展示内容については、経年を踏まえて内容の見直しを協議中。

6. 特許関連

地域中小企業者等が産業財産権 (特許・実用新案・商標・意匠) の出願の検討に対する協力・支援を目的に、先願の検索調査や出願手続き等の相談対応の他、岩手県発明協会との共催により、当センターを会場に下記事業を開催した。

・実施内容

『知財専門家による相談会』

| 回数 | 開催日 | 相談件数 |
|-----|----------------|------|
| 第1回 | R6. 5. 17 (金) | 2件 |
| 第2回 | R6. 8. 21 (水) | 1件 |
| 第3回 | R6. 11. 27 (水) | 0件 |
| 第4回 | R7. 2. 19 (水) | 0件 |

7. 交流・人材育成事業

(1) 釜石・大槌地域企業交流プラザ

釜石・大槌地域における企業間・産学官の連携・交流を促進し、新規事業の創出や新たな取引の拡大など、新しい価値の創造を生むことにより企業のさらなるレベルアップを図ることを目的として開催した。

| 開催日 | 内 容 |
|---------------|--|
| R6. 10. 3 (木) | <p>「令和6年度釜石・大槌企業交流プラザ」 会 場：ホテルクラウンヒルズ釜石 2階 鳳凰の間 参加者：52名 内 容：</p> <p>【研究発表、事例発表】</p> <p>(1) 「なぜ釜石市はサクラマス養殖を選んだのか？」 岩手大学 研究・地域連携部 釜石キャンパス 産学官連携専門員 田村直司 氏</p> <p>(2) 「デザインって私にも関係あるの？」 ～IIRI DESIGN LAB (De. i) のデザイン支援～ 岩手県工業技術センター 産業デザイン部 主査専門研究員 金田麻由美 氏</p> <p>(3) 「アサリ養殖の取組みについて」 岩手県水産技術センター 増養殖部 部長 小林 俊将 氏</p> <p>(4) 「釜石鍛造ボラード&グリーンボラード ～車両進入防止ボラードの開発～」 同和鍛造(株) 釜石事業所 所長 大野了史 氏</p> <p>(5) 「漁業事業者からの産廃プラスチックごみ再資源化への取組」 岩手資源循環(株) 工場長 佐々木雄大 氏</p> |

| | |
|--|---|
| | (6)「岩手大槌サーモン養殖事業について」 弓ヶ浜水産(株) 代表取締役社長 竹下朗 氏 |
|--|---|

8. その他、地域企業支援関連

地域中小企業が新規事業等に取り組む際の協力・支援を目的として、国・県・市等の各種補助金制度の活用を勧め、その申請に係る申請書作成等の作成支援及び採否の結果によりフォローアップを行った。

【支援内容】

補助金等の申請（フォローアップ）支援

| 補助事業名 | 対象企業 | 分野等 |
|---|-------------|-------|
| (公財)水産物安定供給推進機構「ALPS処理水関連の緊急国内販路拡大等支援事業補助金」 | (有)ヤマキイチ商店 | 販路開拓 |
| さんりく基金「新商品・地域サービス開発事業補助金」 | 釜石ヒカリフーズ(株) | 新商品開発 |

【 収 1 貸館事業 】

1. 貸館事業

地域中小企業の基盤強化や人材育成及び震災復興関連等、地域の産業再生や地域の活性化による公益の増進に資する利用者に対し、低廉な金額で財団の施設を貸し出すもの。

【事業内容】

- ・会議室（大会議室・中会議室）の有料貸出
- ・コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして有料貸出

【令和6年度実績】

(1) 大・中会議室の貸出

延べ45団体、収入額 774,275円

(R5年度：50団体、796,875円、前年対比：97.1% 22,600円減額)

(2) 研究室等貸出事業

- ・第1研究開発室：(有)小島製菓
- ・第2研究開発室：(有)小島製菓
- ・小会議室①：(協)シーテック
- ・小会議室②：(株)小原建設 釜石営業所 (※R7.2退居)

(3) シェアードオフィスの貸出

4団体：<月額(税込)：5,500円/社>

| No | 企業・団体名 | 備考(業種) |
|----|---------------|---------------------------------|
| 1 | 東北アシスト工業 | 機械金属(設計) |
| 2 | (株)マリンエナジー | 再生可能エネルギー |
| 3 | (株)スターロードシステム | 車両運行、従業員送迎 |
| 4 | アローリンクス(株) | Webシステム開発、Webサイト制作 (※R6.9退居) |

【 その他 】

1. 会議関係

(1) 理事会の開催 4回(定例2回、臨時2回)

| 名称 | 開催日 | 主な議題 |
|-------|------------|-------------------|
| 第1回定例 | R6.5.30(木) | 令和5年度事業報告及び決算報告 |
| 第1回臨時 | R6.8.7(水) | 臨時評議員会の招集 (※書面決議) |
| 第2回臨時 | R6.9.25(水) | 専務理事の選定 |
| 第2回定例 | R7.3.25(火) | 令和7年度事業計画及び収支予算 |

(2) 評議員会の開催 2回(定時1回、臨時1回)

| 名 称 | 開催日 | 主な議題 |
|-------|------------|-----------------------------------|
| 第1回定時 | R6.6.18(火) | 令和5年度決算報告、 辞任に伴う監事・評議員選任 |
| 第1回臨時 | R6.8.30(金) | 辞任に伴う理事の選任、 辞任に伴う評議員の選任(※書面決議) |

(3) 監事会の開催 1回

| 名 称 | 開催日 | 監査対象 |
|------|------------|-----------|
| 監事監査 | R6.5.21(火) | 令和5年度決算監査 |

2. 一般管理業務

○センター運営、会館の管理

○賛助会員入会の案内、勧誘

セミナー、研修、支援等の機会において、入会案内を実施。

賛助会員企業数：75社(釜石市：62、大槌町：9、盛岡市：2、
遠野市：1、一関市：1)

※期中増 1社、期中減 2社

○会館施設利用のPR